

農 経 新 聞

おかげ様で創刊50周年

株式会社農経新聞

〒141-0031

東京都品川区西五反田

1-27-6 市原ビル9F

TEL03-3491-0360

http://www.nokei.

青果育種研究会 業務加工用の品種続々

関西で見本市と研修会

青果卸会社と種苗会社などで組織する青果育種研究会(会長川宮本修東)が、近畿農政局との共催で「野菜種苗等に関する情報交換会」を行った。同農政局管内においても主要野菜の作付面積が減少する中、生産振興を図ろうと生産、流通、加工業者などによるパネルディスカッションや品種見本市を実施。見本市では、カットなどの業務加工に適した品種がめだつた。また、情報交換会の前日にはカット野菜メーカーの清浄野菜普及研究所(田義治社長、神戸市北区)を訪問。同社と参加者との意見交換では、業務加工用野菜の適性に関する質問が多く上がった。



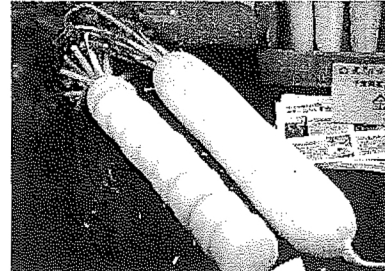
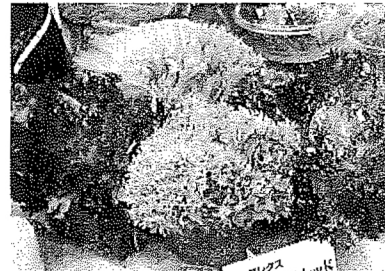
ナント種苗ではニンジン「紅葉」などを紹介

17社・80品種一堂に

品種見本市

品種見本市では種苗会社17社が出展し、合計80品種を紹介した。とくに「めだつたのが業務加工用」

の品種、タイコンではツマやおでんに向く、「蒼しらす」(仮称、みかど協和)、根長40〜50cm、根径7〜8cmに穂つという「長香入」(ながかつか)、「雪印種苗」など。ニンジンでは肉色が濃く、500



カネコ種苗は植物工場向けのレタス3品種を紹介(上)みかど協和の「蒼しらす」は播種期が長く、秋どり～冬どりが可能

0gでの収穫も可能な「紅葉」(へにかなで、ナント種苗)など。また、カットサラダの需要が高まる中、毛しが少なくやわらかなサラダ用の紫ハクサイ「紫葉子」(むらさきそうじ、ナント種苗)も注目を集めた。



一方、関西地域への浸透をめざす品種も。近年関西で白ネギの需要が高まっていることから、横濱植木では繊維がやわらかく、加熱調理で甘みがとくに増すという長ネギ「味十八番」を出品。このほか、紛糞系のカボチャの提案として、「くりゆたか7」(みかど協和)、

「惹くるマロン」(カネコ種苗)も。

また、タキイ種苗では、機能性成分を多く含む「フアイトリッチ」シリーズを紹介。ニンジン「京くれない」、中玉トマト「フルティカ」、赤ミズナ「紅法師」などが並んだ。カネコ種苗は植物工場向けのレタス3品種を紹介。これらは根元を1か所切るだけで葉がバラバラになり、作業を省力化できる。

カット野菜のパイオニア

清浄野菜普及研究所

玉を生産しているが、周りが多いほうがやわらかいのはミニハクサイだ。大きくておいしい「なら」と話。また、清浄野菜普及研究所の樽本純生専務は「当社では取扱いが右肩上がりとなっている。鍋のほかに、ちゃんぽんの具などにも用途があり、まだカット販売が主流となる中、市場では巻きの良いものの評価が高い。また黄芯系なら黄色い部

このほか、トキエ種苗ではステイックフォンネル「ステイッキオ」、ステックカプリフラワー「カプリフロレ」など、バイオエエコサイエンスは加熱調理用の中玉トマト「シシリアンルージュ」をはじめとするトマト16品種を紹介した。



「業務加工用野菜の業務加工用がある」は、品・秀品がと本専務

や関連会社である神戸市中央市場本場仲卸の石田青果、同市場の卸・新築は、各ハリオンのレストランにカット野菜を供給した業界のバイオニアでもある。

現在の工場は2006年に設置した。契約産地は、

現在の工場は2006年に設置した。契約産地は、

現在の工場は2006年に設置した。契約産地は、

地場産野菜の調達、40年以上の契約産地などのほか新たに取組みの始まった産地があり、「輸送コストの面からも地場産のほうが良い。周辺地域は小規模・多品目が多く、消費地でもある。加工業務用の取組みをもっと広げてもらえたら」と要望した。